



特 徴

- ・低消費電力で最低限のメンテナンス
- ・あらゆる気象条件で利用可能
- ・放射をより精度よく測定
- ・ドームのクリーニングの頻度が減少
- ・測定の品質が向上
- ・ドームへの露の付着の防止

概 要

放射計を通風することにより、ドームの塵、雨滴及び露の影響を減らし測定データの信頼性と精度が向上します。また、通風により快晴時の日射の熱の影響からドームやボディの温度を安定させることができ、輻射熱の影響が抑えられます。

ファンモータの吸気側にフィルタが付属し、放射計のドームに汚れの少ない空気を流します。必要に応じ、内蔵されたヒータで加温された空気を流すこともできます。

ドーム部で効率よく空気が流れる筐体の設計となっています。ヒータとカバーの材質を改善し、従来の通風ファンより少ない加温で霜や雪を溶かせます。

ファンは塵の汚れや雨を付きにくくし、放射計の温度を安定させるために連続的に動作します。ファンの回転は1回転で2パルスの信号出力があり、出力を監視することによりファンの動作が確認できます。

防水コネクタと黄色い耐候性のあるケーブルで接続します。ケーブル長は、10m、25m及び50mが選択できます。コネクタのみの供給も可能です。

用 途

あらゆる気象条件で動作し、扱いやすい構造です。通風ファンのメンテナンスはフィルタを定期的に点検し、必要に応じ清掃または交換します。

通風ファンは、放射計のドームの汚れを完全に防ぐことはできませんがクリーニングの回数を減らすことができます。主な用途は、霜や雪の影響を受ける場所、無人での観測です。

世界気象機関のBSRN (Baseline Surface Radiation Network) などの最高水準の太陽光の観測では、通風ファンを使用することを強くお勧めします。

構造

キップ&ゾーンの放射計に利用できます。CMP-3及びSMP-3は、ドーム周辺の開口部が大きくなるので通風の効率が低くなります。

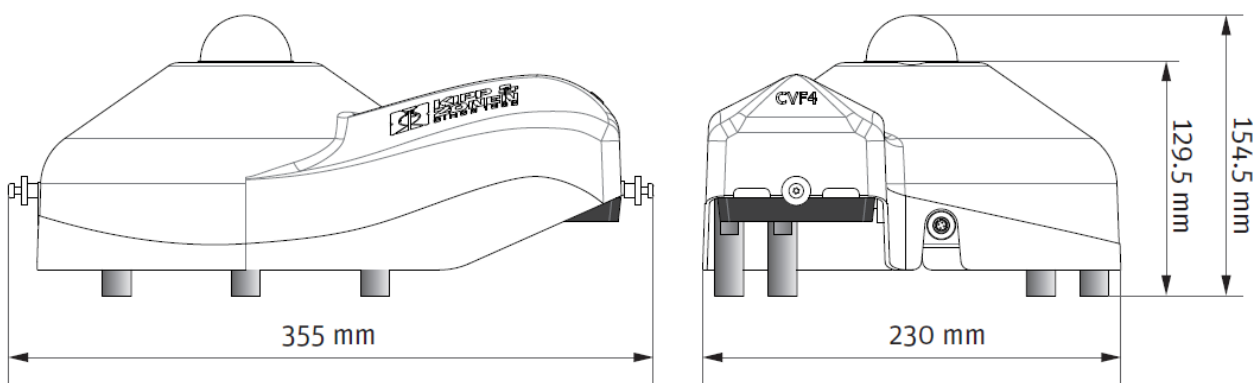
放射計の水準器は、カバーを取り外すことなく確認できます。乾燥剤の確認はカバーを外し行います。カバーは簡単に外すことができる構造となっています。

太陽追尾装置及びシャドウリングに取付可能です。ファンモータとヒータは、12VDCで動作します。ACからDCに変換する電源も別途ご用意できます。

仕様

通風ファンによる温度の上昇	< 0.25 K @ 0 Watt (通風のみ) < 1K @ 5.5 Watt (ヒータ使用時)
ファンのパルス出力	1回転で2パルス 5V 8800パルス/分 (通常)
電源	12VDC/0.9A (ヒータ使用時)
ファン消費電力	5 W
ヒータ消費電力	5.5 W
使用温度	-40 °C to +70 °C
保存温度	-40 °C to +70 °C
保護等級	IP54
注：上記は、最悪の条件と最大の仕様となっています。 標準ケーブルは、10mです。25m及び50mはオプションでご用意できます。	

外観



重量：1.6 kg (ケーブル含まず)